

～何ができるかな～状況判断のできる子に

新緑が眩しく、美しい季節となりました。天地川の上を泳ぐたくさんの鯉のぼり。子どもたちは散歩に出かけると、その大きな風をお腹いっぱい吸い込んで泳ぐ様子や、鯉のぼりの尾に触れたり、お腹の中を覗き込んだりしながら、歓声を上げています。

全国に「緊急事態宣言」が発せられたことで、4月20日より、保育園への登園自粛が始まりました。自粛された方は子どもたちの家庭で過ごす時間が増え、大変なご苦労をされているものと思われます。5月に入り登園自粛が延長されるのか、解除になるのかわかりませんが、自粛が延長になった場合、お子さんや保護者の方にストレスがたまり、イライラするようでしたら園に相談してください。また、解除になっても完全に収束するまでは気を緩めることなく、丁寧な手洗い、うがい、マスクの着用などをきちんと行うことで引き続き感染予防をお願いします。

園でも園内、玩具などのこまめな消毒をし、換気をしたり、十分な配慮をしています。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、のびのび過ごせる日が来ることを心から願っているところです。

さて、4月の園だよりでも述べましたが今年度も「0歳からの幼児教育…選択と集中、そして」を主題に、副題として「たのしい、もっとやりたい、そこからつながるみんなの笑顔」をテーマに保育を進めてまいります。

今年の4月から小学校の全教科に、「主体的・対話的で深い学び」、通称「アクティブ・ラーニング」と言われる勉強方法が取り入れられます。アクティブ・ラーニングとは、教科書の内容を先生の言われるままに記憶する

のではなく、書かれている内容や意味を理解し、問題点を見つけて先生や仲間と話し合いの中で解決方法を見つける授業です。

アクティブ・ラーニングのやり方をおもしろいと感じる力は、赤ちゃんの時から驚きや感動、楽しさの中で人が好きになったり、「何ができるかな」という好奇心の中で、自分の好きなあそびを選んで（選択）、夢中になって遊び（集中）、友だちと考えたり工夫しながら非認知能力と言われる「くじけない心」、「想像する力」、「コミュニケーション力」、「問題を見つけたり、解決する力」、「行動する力」、「やり抜く力」、「我慢する力」など目には見えない力（やる気）を身につけることが大切になります。

非認知能力は普段のあそびの中やごっこ遊びを通して、友だちとのやりとりの中で生まれますが、運動会や作品展、発表会などの行事で多くの刺激を受けます。今年は残念ながらコロナ感染症拡大防止のため、多くの行事が延期になったり、中止せざるを得ないかもしれませんが、できるだけ行事は工夫して実施できればと思っています。小学校以降に求められる「状況判断のできる子」には、いろいろな遊びの中で「やればできる」という成功体験と、自分のことを自分のこととして決められる主体性が必要になります。

園では子どもたちが「何をして遊んでいるのか」だけではなく、どんなことを感じ、何が育っているのかを保護者の皆さまに理解してもらうため、先月お伝えした「きっすノート」というアプリを使って、お子さんの成長を発信していきたいと思っています。 園長



おもしろいことに没頭中



まめのおいがするね  
うまくすじがとれないよ



食べることはたのしい♪

子どもたちは食べることが大好きです。給食の時間になると目をキラキラさせて「いただきま〜す」

先日、地域の方がスナックエンドウを収穫してすぐに持ってきてくださいました。幼児クラスの子どもたちがすじを取り、給食の先生が茹でてくれました。その美味しかったこと…。子どもたちと一緒に野菜を育て、収穫し味わうことで「たべもの」に「作ってくれた人」に感謝する気持ちを育んでいきたいと思っています。



こいのぼりのお話

鯉は古くから立身出世の象徴とされてきました。中国の故事・伝説から「黄河の上流にある龍門の急流をさかのぼることができた鯉は、龍になって天をかける」と言われ、出世のたとえに用いられるようになりました。日本において鯉が縁起物とされたのは、江戸時代中期といわれています。五色の吹流しは、幼子の無事な成長を願って「魔よけ」の意味で飾られるようになりました。

参照  
～鯉のぼりと五色の吹流しの話～



お誕生日おめでとう



保育園では毎月誕生日会があり、その月の誕生日をみんなの前でお祝いします。自分の名前や「〇〇歳になりました」と言うことが嬉しかったり、恥ずかしかったり…。

お家の方からもメッセージを頂いていますがお子さんの成長を振り返ったり、元気で大きくなって欲しいというねがいが書かれています。

生命の誕生は、生まれた日より10か月も前であることに興味を持ってみましょう。お母さんのお腹の中で過ごした10か月、家族が楽しみに待っていた10か月、そして出産の時のことなどを語ってあげてください。そんな心のふれあいは自分が大切にされ、愛されていることを感じ、命の大切さ、自分自信を大切にできる人間になることの基盤になると思います。